

平成30年度災害復旧支援エンジニア活動報告（尾花沢市）

- 平成30年8月5日～6日の豪雨により県内、特に北村山・最上地方では多くの場所で被災しました。

翌週、尾花沢市より、建設技術センターに災害対応について技術支援の要請があり、センターは、平成25年度に県と協定した「技術職員OBによる災害支援に関する協定」を発動し3名の災害復旧支援エンジニアを迅速に派遣し、災害支援を実施しました。

【尾花沢市】

- 派遣要請 ・ 8月16日（木）に尾花沢市より災害復旧に関する技術支援の要請
- 派遣の実施 ・ 8月20日（月）に災害支援の要請を受け災害復旧支援エンジニアを派遣

◆活動状況①（災害復旧支援エンジニアへの派遣依頼）

- 16日 ・ 「災害復旧支援エンジニア登録者名簿」より地域性及び当日の活動可能な渡邊耀一氏、佐藤義治氏及び西尾斉氏へ派遣を依頼

◆活動状況②（現地で被災状況について確認のうえ助言・指導）

- 20日 ・ 現地にて被災状況を視察し被災状況の考え方・被災状況の撮影個所や復旧方法の進め方等を助言

☆ 市道IV-462号 寺山橋橋梁災害

- ・ 被災原因のメカニズムについて把握、復旧工法の留意点を助言
- ・ 河川管理者と協議して河川断面を決定して橋梁架替え計画策定を助言

◆活動状況③（市役所でこれからの災害申請の流れについての助言・指導）

- 20日 ・ 尾花沢市会議室で災害復旧支援エンジニアが市職員に被災報告及び査定に関して注意しなければならない点などの技術的な指導と災害申請の流れについて説明及び助言

◆活動状況④（その他災害復旧全般についての助言・指導）

- ・ 被災時の雨量・用地境界・道路及び橋梁の管理台帳等の整備を助言
- ・ 被災橋梁の撤去及び取付道路の設置等について県との協議を助言

〔災害復旧支援エンジニア制度；災害が発生した場合、県・市町村からの要請を受けて専門技術者が発注者の立場で助言・指導を行う〕

